

2020年9月28日

第96回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 二次要項

■申し込み状況

女子 10km 38名 男子 10km 64名

■前日チーム受付（参加必須）

日時：10月10日(土)13時00分～15時00分

場所：北条海岸 OWS 会場 チーム受付

配布物：チームバッグ(ADカード、プログラム、スタートリスト、各種資料)

選手用バッグ(ADカード、ナンバリングシール、トランスポンダー(自動計測装置2個)、プログラム、スタートリスト、参加賞、各種資料)

必ずチーム受付を済ませること(代理受付可能)

■公式練習

日時：10月10日(土)14時00分～15時30分 全コース開放(15時30分退水)

- ・公式練習の際は、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・競技コース全体を開放する。コースを一周する時はライフセーバーの誘導・指示に従うこと。
(但し、気象状況等によって開放するエリアを変更することがある)
- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。
なお、ラップゲート、ゴールエリア、給水エリア付近での練習はその限りではない。但し、周りの競技者に十分注意をして利用すること。

・10月10日(土)の給水エリア利用方法

- ① 給水コーチの入場制限は設けない。但し、一般見学者の立入りは禁止とする。
- ② 給水エリアでは、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ③ 給水エリアで使用する給水竿は日本水泳連盟 OWS 競技規則に準ずること。
- ④ 給水で利用した飲み物容器(ペットボトル)等は必ず持ち帰ること。

■監督者会議

日時：10月10日(土) 16時00分

- ・本会議はオンライン会議(ZOOM)にて実施する。(参加URLは、別途案内する)
- ・Zoom会議参加は、各所属(チーム)から1名のみ参加とする。
- ・Zoom会議入室時、所属(チーム)略称および氏名が表示されるよう入力して参加すること。
- ・各自資料をHPからダウンロードし確認すること。(配布は行わない)

※なお、オンライン会議アプリ「ZOOM」を使用予定の為、予めZOOMをインストールしておくこと

■大会当日 選手受付

日時：10月11日(日)女子8時00分～9時00分 男子11時00分～12時00分

- ・会場入り口にて消毒と検温を済ませ、「コロナ予防健康チェック表」を1人1枚提出する事。
- ・選手受付の際は、本人確認(ADカード発行)、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェックをおこなう。
*注意：選手は「健康チェック表」とは別に「OWS安全管理健康チェックシート」も提出すること。
- ・ナンバリングシール貼付は各自でおこなう。貼付場所と番号の向きに注意して貼ること。
※会場内にナンバリングシール貼付用スポンジ、バケツ、場所を用意する

- ・水着チェックは、着用でも持参でも構わない。Fina マークが見えるように提示すること。
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから選手受付をおこなうこと。

■大会当日 ウォームアップ

日 時：10月11日(日)

8時00分～9時30分(9時30分退水)第1ブイ⇄第4ブイ往復コース/ 女子・男子利用可
11時00分～12時30分(12時30分退水) 競技コース外の指定エリアのみ

■給水コーチ受付及び給水竿検査

日 時：10月10日(土)13時00分～15時00分 または 10月11日(日)選手受付時間に実施

場 所：北条海岸 OWS 会場 チーム受付横

- ・竿の再検査の場合もある為、**前日(10日)検査受付を推奨**する。
- ・給水コーチ AD カード確認および、竿検査(検査済証シールを貼付)を行う。
- ・給水用竿は日本水泳連盟 OWS 競技規則(OWS6-16)に準ずること。
- ・給水竿のチーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。

■給水エリア入場方法および注意

- ・競技スタート前、給水コーチは給水棧橋入口にて選手ナンバー順に待機
- ・給水コーチの入場は、選手ナンバー順とし係員の指示に従うこと。
- ・10時00分 女子レーススタート後、女子給水コーチのみ、係の指示で入場
- ・13時00分 男子レーススタート後、男子給水コーチのみ、係の指示で入場

- ・給水竿は、受付時にチェックして合格(検査済証シールを貼付)したものを使用すること。
- ・給水エリアで給水コーチに違反行為があった場合、給水コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS3.6 及び 6.3.1)
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- ・担当選手の給水を終わったら一旦後列に下がり、他の給水コーチと譲り合って利用すること。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・給水エリア内では必ず口元を覆うマスクを着用し(フェイスシールドのみは不可)選手への節度ある声掛けは可とする。

■選手招集

- ・選手招集の際は、AD カード、前日配布の選手バッグ(個人の荷物入れ)を持参すること。
- ・招集時のマスク着用は任意とする。
- ・ビーチ入口「選手 AD ボックス」に AD カードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- ・審判長注意、選手コールが全員終わり次第、競技役員の指示に従いスタート位置へ移動する。
- ・選手荷物はフィニッシュ後に選手招集所にて各自回収する。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーンによりスタートする。

■ラップゲート

- ・給水棧橋の先端付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水

- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■表彰

- ・1位は盾と賞状、2位・3位はメダルと賞状、4位～8位は賞状を授与する。
- ・表彰式はおこなわない。但し、上位3名については記念写真撮影を行う。
- ・男女各競技終了後、大会本部にて盾・メダル・賞状を受け取る(ADカードを持参する事)。

■OWS 競技映像ライブ配信について

- ・男女各競技との YouTube にてライブ映像配信する
- ・配信映像 URL は(公財)日本水泳連盟 HP に掲載する

■選手ナンバーの抽選と発表

- 日 時：9月25日(金)機械式自動抽選により決定。
9月28日(月)10時、(公財)日本水泳連盟ホームページ内にて発表する。

■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、**当日朝6時に判断**し、(公財)日本水泳連盟ホームページ内 OWS 委員会「お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「お知らせ」欄にて通知する。

■新型コロナ対策

- (1)本競技会は無観客試合とする。ADカードを持っている選手、給水コーチ、付添者以外は入場できない。
- (2)会場内にテントスペースを設けるので、**各チーム簡易テントを持参する事を推奨**する。
- (3)新型コロナ感染対策により会場内へのマッサージベッドの持ち込みは禁止とする。なお、会場外での使用は可とする。
- (4)泳ぐ時以外は常にマスクを着用し、密を避けるように注意する事。
- (5)多人数での会話、大声を出しての会話を控える事。
- (6)会場入口は1か所、手を消毒、**「新型コロナ予防」健康チェック表を提出**し、体温チェックを受けること。
当日、一度体温チェックをおこなったら、リストバンドを腕またはADカードにつけ再検温の必要はない。
健康チェック表がない場合、入場を許可しない。
- (7)選手へのハイタッチ、大声での応援は禁止とし、拍手での選手へのエールを推奨する

(8)会場内の密を避けるため給水コーチは下記のとおり入場時間制限を設け、入れ替え制とする。

* 女子給水コーチ 8時00分 - 12時30分

* 男子給水コーチ 11時00分 - 15時30分 各給水コーチは指定の時間までに退場する事。

(9)給水エリアではマスクを着用し、互いの距離をとること。

■その他

(1)OWS 競技の水着

・(公財)日本水泳連盟「国内競技会での競泳水着の取扱いについて」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

http://www.swim.or.jp/about/download/rule/rule_01.pdf

(2)安全について

・(公財)日本水泳連盟 OWS 競技に関する安全対策ガイドラインに則り実施する。

http://www.swim.or.jp/about/download/rule/g_03.pdf

・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。

・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。

・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。

・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。

・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスをを行うことがある。

(3)本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、競技終了後 30 分以内に配布の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 10,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

(4)選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の選手受付時(10月11日:女子は8:00、男子は11:00)に必ず提出すること。

(5)本大会は、JADA によるドーピング検査対象となる。

(6)AD カードは、会場内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場に際しては、必ず AD カードを提示して係員の指示に従うこと。

(7)本大会中、会場近くの共用シャワー、または近隣の館山旅館にて温水シャワーを利用する事ができる。

以上